

# きざばし

校訓 心美しき二中生たれ 心強き二中生たれ  
ひたちなか市立勝田第二中学校  
学校だより 第11号  
令和4年10月7日(金)

令和4年度前期が今日で終了しました。保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染防止対策のために度重なる行事の変更や学級閉鎖等にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスとの共存でスタートした令和4年度でしたが、6月の関西方面修学旅行や宿泊学習、校外学習と予定どおりに実施することができました。また、3年生の最後の総体やコンクール関係も感染予防を徹底した中で無事に開催することができ、もてる力を遺憾なく発揮してくれました。今年の夏休みは、各学年で登校日を設けて職場体験などのキャリア教育や進路学習にも取り組みました。9月には種目内容や運営方法を見直した「新しい体育祭」を1年ぶりに保護者観戦のもと全校で実施できました。生徒は新しい取り組みにも一生懸命に挑戦し、学びを止めない努力を教員とともにしてくれました。本当にすばらしい取り組み態度でした。終業式での生徒代表の言葉をご紹介します。

(校長 高木 克己)

## < 前期を振り返って >

※学校ホームページに掲載の学校だよりでは、個人名を抜いております。ご了承ください。

### 【1年3組】

#### (校外学習)



4月にこの勝田二中に入学して約半年が経ちました。入学してすぐの頃は、友達ができるかとても不安でした。でも、すぐに3組のみんなと仲よくなることができました。チームワークが抜群な3組は、9月の体育祭で、協力して練習に取り組みました。ぼくは、作戦会議をまとめたり、練習では声をかけて励ましたりして、みんなのモチベーションを高めることに努力しました。総合で学年3位になったときには、とてもうれしかったです。

ぼくは、前期、中央委員会に入りました。1学年の副委員長にも進んで立候補しました。二中での学校生活を、クラスのみんなや先輩たちとよりよいものにしていきたいと思ったからです。

6月の校外学習では、各クラス別々の企業に見学に行きました。仕事の大変さやSDGsについて学ぶことができました。夏休みに他のクラスの友達に向けて発表するときには、中央委員や学年生徒会のみんなと分担して司会をしたり、意見をまとめたりしました。みんなのために考えて仕事をするのは、とても充実して楽しかったです。

前期の活動で忘れていけないのは部活動です。ぼくは、陸上部に入部しました。最初は練習がとてもきつく感じました。また、記録会に出てもあまりいい結果を残せませんでした。でも、顧問の先生や先輩、そして同級生の支えがあり、前向きに活動することができました。新人戦では、初めて800m走に出場しました。自分の目標タイムには届かなかったけれど、次につながる大切な大会となりました。

こうして、前期の半年間、いろいろな経験を通して充実した日々を送ることができました。入学式で校長先生がおっしゃっていた「中学校生活は高校生活の準備時間」という言葉があります。後期も一日一日を大切に過ごしていきたいです。

### 【2年1組】

#### (宿泊学習)



前期を振り返るとさまざまなことがありました。2年生に進級し、私は学級委員になりました。最初は、クラスの中に知らない人も多くいたため、クラス全体をまとめることができるか、とても不安でした。しかし、1組のみんなや周りの学級委員、先生のおかげで頑張ることができました。学級委員として特に頑張ったことは、声かけと正しいことを貫くことができる学級委員になることです。前期の初めの頃は、3分前着席があまりできていない生徒がいて、学年全体が落ち着きの生活でした。そのため、先生からも「もっと声かけをして」や、「正しいことを貫くことのできる学年にしよう」と言われました。その

のこともあり、学級委員みんなと協力して、もっとよい学年にしようと思いながら声かけを頑張りました。

した。みんなで頑張ったため、今では声をかけなくても3分前着席ができるのでうれしいです。しかし、声かけも私一人ではできないことでした。みんなが協力してくれたおかげです。前期は、みんなに支えられた生活でした。だから、後期はみんなを支えられるようになりたいです。また、前期は部活も頑張りました。新チームになり、私たち2年生の代になったため、練習に臨む気持ちも切り替え、日々の練習が実力となるよう頑張りました。

後期は、勉強にも力を入れていきたいです。だんだんとテストの点数が落ちてきてしまっています。だから、後期は、納得のいく点数を取れるように、まず「解けない！分からない！」をなくし、苦手教科の克服にも力を入れていきたいです。また、落ち着いて正確に問題を解き、今のうちから受験のことも意識してテストに臨めるようにします。後悔のないように予習・復習を徹底するなど、しっかり勉強して学習面も頑張ります。後期は、学級委員ではなくなりますが、声かけの仕事を中心に学級委員の仕事の継続したり、まだまだ残っている学級の課題解決に向けて頑張ったり、中だるみの2年生と言われたいないようにしていき、さらによい学級、学年にしていけるよう努めていきます。

**【3年1組】**

**(修学旅行)**



私は、前期に学んだことがいくつかあります。

1つ目は、仲間の大切さです。最後の総体に向けて「県大会ベスト4」というチームの目標を立てました。毎日の練習でも、一人一人は目標を立てて取り組み、できなかったこと、できたこと仲間で共有し、コミュニケーションを取りながら練習に励むことができました。目標を達成することはできなかったけれど、辛いときも仲間で支え合い、充実した3年間のバスケットを楽しめてよかったです。

2つ目は、友達と協力する大切さです。修学旅行の班別行動では、班のみんなと計画を立てて市内散策をしたり、京都の歴史を学んだりしました。修学旅行に行くまでの計画は大変だったけれど、友達と楽しく、最高の思い出ができてよかったです。また、美術の学習で学んだ仏像も見られてよかったです。

3つ目は、時間の使い方です。私は、普段の勉強だったり、テスト2週間前の勉強だったりをやらないときがあり、時間をうまく使えませんでした。来年の1月には私立高校入試が始まります。授業ではできなかったことを復習したり、テストで間違った問題を解き直したり、応用問題にチャレンジしたりするなど、受験に向けてしっかり準備をしていきたいです。そして授業では、先生の話をよく聞き、メモを取ったり、自分なりにノートを工夫してつくったりして、自分に合ったよりよい学習方法で目標とする高校に行けるようにがんばりたいです。

以上、前期に学んだことをいかに、残りの中学校生活を思い出に残るような充実したものにしていきたいです。

**< 前期の様子から >**

**(4月 授業参観)**



**(5月 女バスVS先生試合)**



**(6月 中央地区総体)**



**(7月 性教育講演会)**



**(8月 総合学習発表会)**



**(9月 市新人大会)**

